

身近な緑に癒やされています



古田 聡美さん (宇宿町)

○高齢者介護のための施設を運営しており、2年前に市の助成も受けて屋上を緑化しました。○この屋上でのプランターを使った野菜作りや、収穫した梅での梅干しづくりなどは利用者のリハビリの一環にもなっていますし、何よりも、気軽に緑に触れられる癒やしの空間になっています。○また、毎年、緑のカーテン作りにも取り組んでいます。緑は適度に日差しを遮り、気温の上昇も抑えてくれて、緑のとてもしよい効果を実感しています。みなさんも、身近な緑を大切に育てていきましょう。



あなたもわがまちの緑づくりに参加しませんか

森林づくりに参加しませんか

市民と協働の森林づくり事業

地球温暖化防止や水源かん養への取り組みとして、森林整備に関心のある企業やボランティア団体に活動場所を提供し、市民参加による「森林づくり」を進めます。◇対象 森林整備活動を希望する市内の企業やボランティア団体◇申し込みなど詳しくは生産流通課 216-1341へ



豊かな森林を次の世代へ

あなたのデザインでまちの花壇を飾りませんか

花壇のデザイン募集

鹿児島中央駅など、市が管理する花壇をデザインしませんか◇対象 市内に住む小学生以上の人◇申し込み 所定の応募用紙にデザイン(草花の種類と色)とねらいなどの必要事項を書いて、8月31日(必着)までに〒892-8677山下町11-1公園緑化課216-1368へ



受講者募集

ふれあい園芸教室

◇内容 マーガレットアイビーの楽しみ方◇講師 篠田守夫氏(市花と緑の相談員)◇対象 市内に住む人◇日時 6月18日(土)10時~12時◇場所 かがしま市民福祉プラザ◇定員 100人(超えたら抽選)◇受講は無料◇申し込み 往復はがきに参加者の住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、6月13日(必着)までに〒892-8677山下町11-1公園緑化課216-1368へ

登録団体募集

グリーン・ツーリズム活動団体等

本市のグリーン・ツーリズムを推進するため、都市部と農村部の交流活動を地域で自主的・主体的に実践している団体などを登録します。◇登録要件 実践しているグリーン・ツーリズムを市ホームページに掲載することや市が実施するグリーン・ツーリズムの推進のための調査などに協力し、今後も積極的に実践する意欲があること◇審査会による登録に必要な審査を行います◇申込期限 6月17日(必着)◇申し込みなど詳しくはグリーンツーリズム推進課216-1371へ

ご利用ください 農村体験人材バンク制度

市内の農村地域で、体験交流活動の技能を持った人を紹介しています。あいご会などで子どもや親子を対象とした体験交流活動を行うときなどに、ご利用ください。◇内容 こんにやく作り(9~12月) お団子作り、そば打ち、茶手もみ、炭焼き、わら細工、竹細工、かざり工芸、地域の歴史紹介など◇体験指導は有料です◇詳しくはかがしま市グリーン・ツーリズムホームページ(http://www.city.kagoshima.lg.jp/green)をご覧ください

グリーン・ツーリズムとは農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動のことで、本市では、このグリーン・ツーリズムを推進しています。



グリーン・ツーリズム推進課216-1371へ

図1 緑の役割

Diagram showing the six roles of green: 1. Urban environment improvement (Heat island mitigation, CO2 absorption, rainwater control). 2. Maintenance of biological life and environment (Biodiversity, ecological network). 3. Provision of recreation spaces (Stress relief, health promotion). 4. Formation of beautiful landscapes (Urban scenery, original landscape). 5. Disaster prevention and evacuation site confirmation (Wind/fire prevention, flood mitigation). 6. Inheritance of historical atmosphere (Historical elements, wind soil composition).

図2 基本理念と緑の将来像

「協働で築く緑豊かな快適環境都市・かごしま」

- ◇骨格となる緑 桜島などの自然環境資源の緑が保全され、市街地をつつみこむ山並みの自然の緑が保たれ、自然観察・環境学習・レジャーなどにより自然との共生が行われている。◇海辺の軸 港湾などは、親水緑地などが整備され、市民や観光客による海辺の憩いやにぎわいの場所となっている。また自然海岸などは保全されている。◇水の軸 河川の上流域は自然にあふれ、下流は水辺の桜の花見や散歩道として市民に利用され、憩いの場となっている。◇斜面の緑の軸 連続する斜面緑地は、市街地の背景の緑で良好な眺望景観を形成している。◇緑のレクリエーションゾーン 鹿児島らしい特色のある大きな公園などは、都市のふれあいの拠点となっている。また、市外からの観光客が多く来園し、にぎわいと活気に満ちている。◇市街地の豊かな緑 歩いて行ける身近な公園が多くあり、花いっぱい運動により街並みと調和した生垣や花壇があり、街路樹や屋上・壁面緑化などにより、緑が街にあふれている。

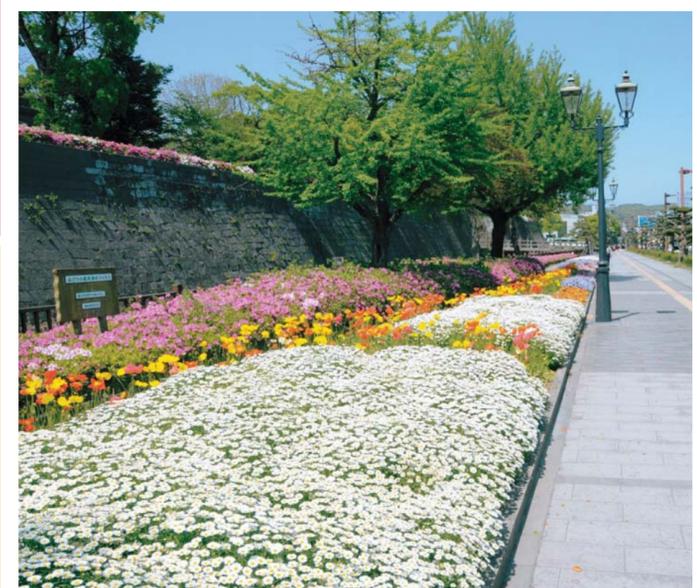


図3 緑の将来像の実現に向けた基本方針と目標・施策

Five basic policies for realizing green future: 1. Cooperation for green maintenance and expansion. 2. Inheritance of natural environment resources to the next generation. 3. Fulfillment of functions of green spaces. 4. Cultivation and creation of green spaces near home. 5. Cultivation of interest in green and nature, and maturation of the city.

みんなでつなぎ、育もう かがしまの緑

～鹿児島市まちと緑のハーモニープラン～



平成8年と20年に実施した市民アンケート調査の結果では、緑の効用として「空気をきれいにする」「心がやすらぐ」という意見が8年、20年ともに上位を占めました。20年の調査では、「気温の上昇などを抑制する」という意見が大きく増えています。

緑は、人々の豊かな生活を生み出していくためにさまざまな役割を担っています。【公園緑化課 216-1368】

「まちと緑のハーモニープラン」は、本市の「緑」に関する施策の総合計画として、平成33年度までを計画期間としています。本市ではこのプランに基づき「緑」の施策を推進しながら、市民と協働した緑のまちづくりを進めていきます。

市民・市民団体・事業者などの参加と協力を得て、さらに緑を守り、つくり、育てていくために、①市民一人ひとりが環境に対して自覚と意識を持つこと ②多様な緑が、協働により保全・創出・育成されていること ③自然と共生した都市環境を保持していること ④緑に対する協働から市民文化が育まれ、市民一人ひとりが地球環境から身近な環境に配慮した緑の取り組みがなされていることなどが重要である。

この緑の将来像を、市民、事業者、NPO、行政など、みんなの力で築きあげ、ためささまざまな取り組みを進めていきます。また、基本理念や施策を踏まえて、市内の14の地域や地区ごとの目標も定め、各地域・地区の特性や課題に応じた施策・事業を進めます。※まちと緑のハーモニープランは市ホームページでもご覧いただけます

